



寒川町・藤沢市・茅ヶ崎市の2市1町では、広報紙の相互掲載を行っています。今回は「漕ぐ」をテーマに、2市1町を紹介します。

藤沢市 新たに漕ぎ出す 鵜沼海浜公園 スケートパーク

鵜沼海浜公園スケートパークの施設はもと、昭和13(1938)年に町営の鵜沼プールとして開業し、その後市営となり、昭和36(1961)年から約40年にわたり小田急電鉄(株)により、鵜沼プールガーデンとして多くの方に親しまれてきました。

しかし、平成12(2000)年9月にプールとしての営業を終え、その翌年にプール施設を活用した鵜沼海浜公園スケートパークがオープンしました。

現在スケートパークは(株)湘南なぎさパークが運営しています。昨年度は約3万人の人が来場し、湘南地区のスケートボード、BMXなどのスポーツの拠点となっています。

この秋、鵜沼海浜公園には国際的な競技の開催も可能な大規模なコンビプールが完成し、新たな魅力が加わります。コンビプールとは、スケートボードな

どの競技で使用されるコースです。大きさや傾斜が異なった皿や、深いお椀などの形をいくつも組み合わせ、コンクリートで一体的に成型された複雑な窪地状のコースです。

この施設で楽しめるスケートボード、BMXフリースタイルなどの競技が、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の種目に新たに加わったことを追い風に、今後も注目を集める公園となりそうです。



■問い合わせ先

藤沢市公園課

☎0466(50)3535
FAX0466(50)8439

茅ヶ崎市 湊地区に残る郷土唄

漁師たちが漁船を漕ぎ出して豊漁を喜び、地域の人々が祝いを歌詞に紡ぐ――。

スポーツ公園やキャンプ場など、現在は公共施設が並び市内柳島。江戸時代には湊地区として茅ヶ崎の流通を支え、漁師たちの船を漕ぐ行為は生活に直結していました。そんな活気ある様子を、

当時の人々は独自の歌で表現。歌詞からは生活様相やまちの雰囲気や伝わり、同地域の郷土唄として脈々と引き継がれています。

「ソーラ浜は大漁だ／ヨイトナエー」かつては衰退の一途を辿るも、幼少期に覚えていた人々たちによって昭和50(1975)年頃によりがえった「柳島大漁船上げ唄」は、豊漁祝いを歌った曲です。アジやイワシの大群が押し寄せ、豊漁の漁船が浜に引き上げたときの賑わいが歌詞に描かれています。

また無病息災や当時の様相などを表現した「柳島エンコ節」や「柳島お座敷甚句」は、結婚式や宴席などで歌われる祝い唄として現在にまで継承。エンコ口節は昭和51(1976)年1月に市の重要文化財に指定されています。



■問い合わせ先

茅ヶ崎市秘書広報課広報担当

☎0467(82)1111
FAX0467(87)6345

寒川町 パンプトラックさむかわ オープン

さむかわ中央公園内にBMX、スケートボード、インラインスケートなどを楽



畠山紗英選手の試合の様子
©Kenichi INOMATA

しめる施設「パンプトラックさむかわ」がオープンしました。全周35・7mのスピードリング、全周104・1mのグランプリの2種類の起伏のあるコースが楽しめます。

10月に行われたオープニングセレモニーでは、テープカットやBMX選手によるデモンストレーションが行われたほか、町内在住で東京オリンピックへの出場が有望な畠山紗英選手からのビデオメッセージが流されるなど、大いに盛り上がりしました。子どもから大人まで楽しめるので、ぜひ遊びにいらしてください。

開場時間や料金など詳しくは、町ホームページよりご覧ください。

※利用にあたっては、中学生以下の人は保護者の同意(署名)、小学生以下の人は保護者(成人)の同伴が必要です。

オープニングセレモニーで紹介した動画をこちらから見るができます。

■問い合わせ先

寒川町健康・スポーツ課

☎0467(74)1111
FAX0467(74)9141

